



Web Fairy Paradise

第157号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第132回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第133回 WFP 作品展
- ・ (ライトな)フェアリー短編コンクール
- ・ Fairy of the Forest #67
- ・ 推理将棋第141回出題

結果発表

- ・ 推理将棋第139回出題
- ・ 第12回神無太郎の氾濫 解答編

読み物

- ・ 解答募集不適切作品群(神無太郎)



2021/7

はじめに



神の悪手

もうすでに読んだ方もいらっしゃるかと思いますが、今年5月に発売された芦沢央（あしぎわよう）さんの「神の悪手」を読みました。“将棋”をテーマにした5篇を収録した短篇集です。こういう紹介は占魚亭さんの専門かとも思いますが、ちょっとだけ紹介。私が書くのですからお察しの通りで、短編集の中の1作「ミイラ」がフェアリー詰将棋を題材にしたもので本当に面白く繰り返し読んでしまいました。内容はネタバレになるので書けないのが残念ですが、これまでにないフェアリーの新ルールが登場します。読んでいる途中で新しいルールを推測出来たので私もいろいろ考えてみたのですが正解できませんでした。驚くことに作者は37歳の女性作家の方でこのネタをどうやって思いついたのか？最後のページを見るとこの作品に協力していた方の名前が載ってました。やっぱりですね。実際、このルールで作品を創ってみたいと思いましたが、ルール説明がネタバレになるという状況では注釈：ルールは「神の悪手・ミイラ」をお読み下さいと書くしかなさそうですね。でもこれはこれで面白いと思いますので WFP に投稿頂ければ作品展を開催するかもしれません（笑）作者の許可があるかもしれませんがね。

ともかくフェアリストで（いや将棋ファンなら）読む一手です。是非！

いよいよオリンピック。楽しみです。

たくぼん

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第156号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://cavesfairy.gl.xrea.com/pub/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

第132回WFP作品展(再掲)及び
第133回WFP作品展 担当：神無七郎

手筋 フェアリー手筋カード

本作品展では解説にあたり、様々な用語や造語を使っています。先日、その一部をまとめた資料を作成しましたが、味気ないただの一覧表なので他人に見せるには向いていません。

そこで、せっかく作った資料を有効活用できないかと考えたのが「フェアリー手筋カード(仮称)」です。

これは表の一行をカード形式に変え、これに例図・解答・解説を加えたものです。まずは試作したカードをご覧ください。

表側

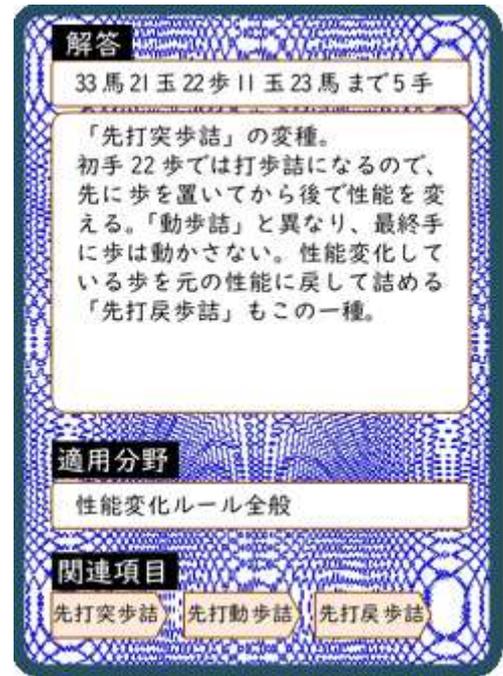


カードのサイズは何でも良いのですが、ここでは「スタンダードサイズ」と呼ばれる 63mm×88mm に設定しました。

カードの表側には手筋の名称とその意味、例図を配します。「No.」は枝番にしていますが、これは一つの手筋で複数の例図を挙げるときに使います。

カードの裏側には例図の解答・解説、適用分野、関連項目を配します。解説は他の手筋との共通点・相違・関連の説明に重点を置き、例図の説明は最小限にします。「適用分野」は異なるルールで実現可能性を示し、「関連項目」で類似の概念への興味を惹くようにします。

裏側



「カード」の使い方は色々考えられますが、まずは本作品展のオマケとして「今月の手筋」欄を作り、「解付き出題」の方式で運用を始めたいと思います。詰パラの「ヤング・デ・詰将棋解付きコーナー」のフェアリー版ですね。使用する手筋を明かしているのが大きなヒントになりますが、フェアリーではそれくらいでちょうど良いでしょう。

また、この企画への協力も募ります。筆者には絵心がないので、カードデザインはそれが得意な方をお願いしたいですし、カード用の例図も募集したいと思います。カードの全項目が記述されていると助かりますが、最小限「手筋の名称」「意味」「例図」「解答」だけでも結構です。また、例図は紹介する手筋以外の要素を極力排し、“教材”に徹してくださるようお願いします。

(他の要素を加えたり、教材の域を超えて「作品」になってしまった場合は、普通に作品としてご投稿ください。)

さて、今回の WFP 作品展は第 132 回の再々掲載分と第 133 回の新規出題分です。第 133 回には 8 名の方から 13 題が寄せられました。出題数の関連もあるため、本作品展登場回数の多い方は投稿の一部を次回に回しています。どうかご了承ください。

また、今回から出題図に使う文字のフォントを変えてみました。自分ではこの方が見やすいと思うのですが、不評であれば以前のフォントに戻します。

〔第 132 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 132 回の出題は全 11 題（複数解作品を含むため実質 13 題）。今回登場する作者は占魚亭氏、神無太郎氏、上田吉一氏、真 T 氏、変寝夢氏の 5 名です。極端な難問はないはずですし、解答募集期間も通常より一ヶ月長いので、余裕のある方はぜひ全題正解を狙ってください。もちろん、解けた分だけの解答も歓迎します。

132-1 は占魚亭氏の *Imitator*& 中立駒作品。

「*Imitator* は盤端に」の格言を頭に入れて解いてください。

132-2 と **132-3** は神無太郎氏の中立フェアリー駒を使った二玉詰。二玉詰の定番の手筋を狙ってください。元々は「第 54 回神無一族の氾濫」への投稿作でしたが、こちらに回して貰いました。「氾濫 54」のお題は「将棋の格言」なので、この 2 作も格言と関連付けられています。

132-2 は「大駒は離して打て」、**132-3** は「桂は控えて打て」。*Grasshopper* を大駒に、駒を桂に見立てるのが妥当かどうか微妙ですが、ヒントにはなると思います。

132-4 と **132-5** は上田吉一氏の作品。両題とも比較的易しいと思います。**132-4** は簡素形で驚きの長手数。受方持駒制限があるので、初形に示された駒のみで解いてください。**132-5** は 2 解あるので、なるべく両方を答えてください。

132-6～**132-8** は真 T 氏の作品。**132-6** と **132-7** は *All-in-Shogi* ですが、**132-7** の方は協力詰ではありません。受方は詰まないように抵抗する手を選んでください。**132-8** は単玉の協力自玉スタイルメイト。攻方玉がありませんが、攻方を合法手のない状態にするという目標は変わりません。桂香歩以外は駒の消えない PWC ルールでどうやってスタイルメイトを達成するのでしょうか？

132-9～**132-11** は変寝夢氏の作品。**132-9** は味方の駒から利きを貰う *Friend*（響）を使った作品。初形で響は馬の性能ですが、もちろん 2 手詰ではありません。**132-10** と **132-11** は中立駒を使ったリパブリカン。中立駒は詰めにくい駒ですし、受方持駒制限もあるので、「手筋」を使う必要がありますね。なお、**132-11** は 2 解あるので、なるべく両方を答えてください。



〔第 133 回作品展各題への補足説明〕

第 133 回の出題は全 11 題（ツインや複数解作品を含むため実質 13 題）。今回登場する作者は神無太郎氏、占魚亭氏、*springs* 氏、真 T 氏、藤原俊雅氏、上田吉一氏、変寝夢氏、青木裕一氏の 8 名です。*springs* 氏は本作品展では初登場ですが、既にネット上でいくつもの作品や研究成果を発表されています。今後は WFP 誌上でも活躍されることを期待します。

133-1 は神無太郎氏の点鏡作品。*Grasshopper*（G）が使われており、見るからに大技が出てきそうですね。G は合計 4 枚に設定されていますが、全部使うとは限りません。

133-2 は占魚亭氏の *Imitator*& 中立駒作品。**132-1** と同様、「*Imitator* は盤端に」の格言を頭に入れて解いてください。中立駒は中立駒を取れるということもお忘れなく。

133-3 及び **133-4** は *springs* 氏の点鏡作品。点鏡らしい盤面を大きく使った手順を堪能してください。氏は裸玉点鏡協力詰の体系的調査を行っている（https://note.com/tsume_springs 内で公開されています）ので、その記事を参照すると点鏡の感覚を掴みやすいと思います。

133-5 及び **133-6** は真 T 氏の *Koko* 作品。どちらも初形で王手が掛かっているように見えますが、*Koko* では駒が孤立する着手は（たとえそれが玉を取る手でも）禁止されているので、王手は掛かっていません。

133-7 及び **133-8** は藤原俊雅氏のツインと複数解作品。**133-7** はなるべく両方の図を、**133-8** はなるべく 2 解両方をお答えください。**133-8** では *Queen*（Q）が使われていますが、受方の持駒に Q はありません。

133-9 は上田吉一氏の PWC 作品。受方持駒制限や成禁の条件があるので、見掛けほどは難しくないとはいえません。趣向のサイクルが判明するまで頑張りましょう。

133-10 は変寝夢氏のレトロ協力詰。今まで本作品展で登場した「レトロ」は逆算した後、1 手詰を求める出題形式でしたが、本局では逆算した後に長手数の詰みを求める形式です。逆算も詰手順も長いとなると難しそうで思えるかもしれませんが、使用駒は少ないですし、着手可能地点も制限されています。むしろ、今回の作品展では一番易しいかもしれません。

133-11 は青木裕一氏の *Imitator* 作品。受先形式なので初手は受方が自由に指せます。一見、

初手は何でも良さそうですが、本当にそうでしょうか？

解答要項

第 132 回分解答締切:2021 年 8 月 15 日(日)

第 133 回分解答締切:2021 年 9 月 15 日(水)

宛先: k7ro.ts@gmail.com (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12 題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ k7ro.ts@gmail.com へ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule128.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【Imitator】(■または I)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照: WFP75 号「Imitator の紹介」

【中立駒】(「n」あるいは「n 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる (利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、

持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。

- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも 自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照: WFP61 号「中立駒の紹介」

【二玉詰】または【多玉詰】

複数の玉を使用する。

どの玉に対しても王手放置は禁手。

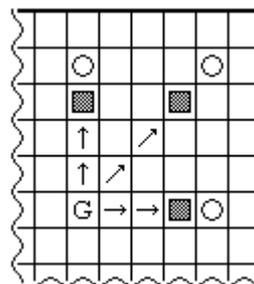
王手を外せなければ詰み。

→初出: 第 41 回 WFP 作品展 (WFP45 号) (補足)

- ・玉が 3 枚以上の場合、「多玉詰」と表すこともあるし、「二玉詰」と表すこともある。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



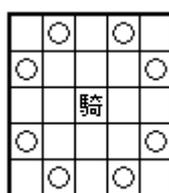
(○が G の利き)

(補足)

- ・飛び越える駒は敵味方どちらでもよい。
- ・パオと違って飛び越さないと動けない。動ける場所も飛び越えた駒の隣だけ。
- ・成ることはできない。
- ・2 つ以上の駒は飛び越せない。

【Knight】(騎)

チェスの Knight。八方桂。



(○が騎の利き)

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【n 解】

解が複数あり、指定された n 個の解を求める出題形式。

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも 1 手前の局面に戻す着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 自玉を取らせる手は反則

→参照：WFP122 号「All-In-Shogi の紹介」

【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じて詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)

(補足)

- ・本作品展では普通の詰将棋は「詰将棋」と表記して出題する。複合ルールの場合は組み合わせるルール名の後に「詰」を付けて表す。
- ・攻方最短を要求するときは「最善詰」とする。

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 取られた玉は復元しないものとする。

【Friend】(響)

フェアリーチェスの Friend。

本来は利きを持たないが、味方の駒の利きに入ると、その駒の利きを持つ。

(補足)

- ・複数の味方駒から利かされると、それらを合成した利きになる。
- ・味方の Friend から利きを写すこともできる。利きの転写は再帰的で、利きが増えた結果、更に多くの Friend を巻き込み、相互に利きを増幅させることも可能。

【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→参照：WFP92 号「リパブリカン詰の紹介」

【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない
- 初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)

【Koko】

着手は、そのまわりの 8 マスに何らかの駒が存在するような地点のみ有効。

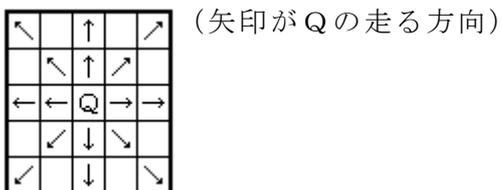
(補足)

- ・王手にもこの条件は適用される。玉を取っても周りに駒がない場合、王手とみなされない。

→参照：WFP42 号「Koko について」

【Queen】(Q)

チェスの Queen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

(補足)

- ・あくまで手順中に「成」が出ないだけ。
- 「詰」や「王手」の概念は通常通り。

【レトロ -m+n手】

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1)特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2)協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数 of 逆算や短い手数の詰手順が成立する場合、それが優先される。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

跳び越すことは可能。



【受先】

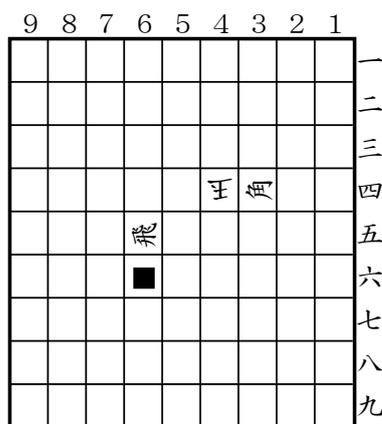
受方から指し始める。



<第132回>解答締切:2021年8月15日(日)

■ 132-1 占魚亭氏作

協力詰7手

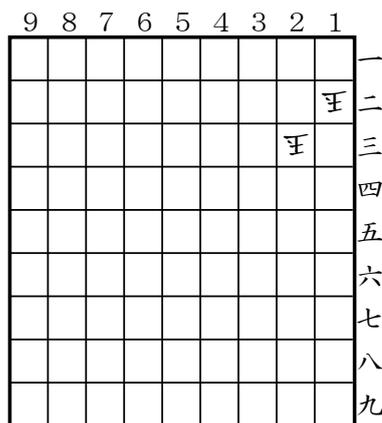


攻方持駒 なし
 受方持駒 なし
 ※65飛と34角は中立駒

■:Imitator

■ 132-2 神無太郎氏作

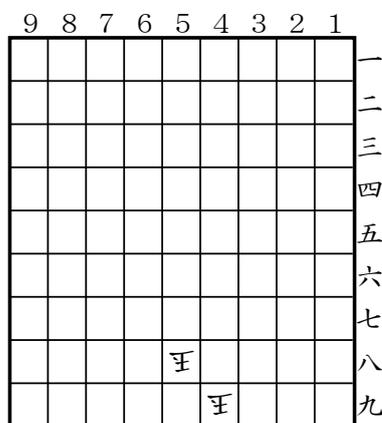
二玉協力詰5手



攻方持駒 nG3
 受方持駒 残り全部+nG
 ※nG:中立Grasshopper

■ 132-3 神無太郎氏作

二玉協力詰15手



持駒 歩n騎
 ※n騎:中立Knight

■ 132-4 上田吉一氏作

協力自玉詰 92手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	王	一
					雀				二
					と	桂	王		三
									四
					角				五
						桂	桂		六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

■ 132-5 上田吉一氏作

協力詰 5手 (2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
王									四
									五
王									六
					雀				七
									八
									九

持駒 金2G
※G:Grasshopper

■ 132-6 真T氏作

All-in-Shogi協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	桂	一
							飛		二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

■ 132-7 真T氏作

All-in-Shogi詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							歩	香	四
	飛	角						王	五
									六
							銀		七
									八
									九

持駒 なし

■ 132-8 真T氏作

PWC協力自玉スタイルメイト 34手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					王				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角金2銀4桂歩5

■ 132-9 変寝夢氏作

協力自玉詰 4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	香	一
雀									二
	轟								三
									四
									五
									六
									七
							王		八
									九

持駒 飛2
※響:Friend

■ 132-10 変寝夢氏作

リパブリカン協力白玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
		香								三
飛										四
	桂					王				五
					歩					六
		歩								七
										八
										九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※94飛は中立駒

■ 132-11 変寝夢氏作

リパブリカン協力白玉詰 6手 (2解)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
								煙		九

攻方持駒 香
受方持駒 桂
※39角は中立駒



<第 133 回>解答締切:2021年9月15日(水)

■ 133-1 神無太郎氏作

点鏡協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
							王			九

攻方持駒 桂香G
受方持駒 残り全部+G3
※G: Grasshopper

■ 133-2 占魚亭氏作

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
						王	煙			三
			雀				■			四
										五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし
※33角と64飛は中立駒
■: Imitator

■ 133-3 springs 氏作

点鏡協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王		一
										二
										三
										四
										五
								王		六
										七
								香		八
										九

持駒 角

■ 133-4 springs 氏作

点鏡協力自玉詰 10手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							王	一
								二
								三
								四
								五
			香				王	六
								七
								八
								九

持駒 香

■ 133-5 真T氏作

Koko協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
			飛					二
								三
								四
				王				五
								六
		角						七
								八
								九

持駒 香

■ 133-6 真T氏作

Koko協力自玉詰 46手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
			王					五
				王				六
								七
								八
								九

持駒 歩4

■ 133-7 藤原俊雅氏作

a) 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						飛		二
							科	三
			歩	王				四
							歩	五
					角			六
			毎					七
								八
								九

持駒 歩

b) 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
						飛		二
							科	三
			歩	王				四
							歩	五
					角			六
			毎					七
								八
								九

持駒 歩

■ 133-8 藤原俊雅氏作

協力自玉詰 6手(2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						毎	王	一
			王					二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 Q

※Q: Queen

■ 133-9 上田吉一氏作

成禁PWC協力白玉詰 90手

				と				王	一
								飛	二
							王	卒	三
									四
							爵		五
									六
爵									七
									八
	馬								九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 133-10 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -78+77手

									●	一
	●	●	●	●	●	●				二
	●								●	三
	●		●	●	●				●	四
	●		●		●				●	五
	●		王	●	●				●	六
	●	●	●	●					●	七
手			●		●	●	●			八
●			●							九

攻方持駒 なし

受方持駒 金

※●: 不透過・不可侵

■ 133-11 青木裕一氏作

協力詰 2手(受先)

										一
										二
										三
										四
										五
										六
							■		圭	七
									桂	八
							圭	桂	王	九

持駒 角

※■: Imitator

(ライトな)フェアリー短編コンクール

担当 占魚亭

2012年以來の開催(で合ってますよね?)となるフェアリー短編コンクールに15名の方から投稿をいただきました。ありがとうございます。

難易度は様々、いろいろなルール面白い作品が集まりました。お楽しみください。

◆参加者 16名(敬称略)

神無太郎、上谷直希、せら、藤原俊雅、駒井めい、小林看空、青木裕一、神無七郎、springs、馬屋原剛、変寝夢、たくぼん、真T、さんじろう、神在月生(以上15名、到着順)+占魚亭

■解答要項

解答締切り：8月20日(金)

解答送り先

①メール：sengyotei■gmail.com

(■を@に変えてください)

②TwitterのDM

※解けたものだけでかまいません。fm・fmza等を使用しての解答も可ですが、その旨お書きください。

※作者名を伏せての出題なので、余裕のある方は作者当てに挑戦してみても?

■お気に入り投票

お気に入りの作品の番号をご記入ください。最多得票獲得作が優勝となります。投票は一人3作まで。

■結果発表

9月1日(水)から「占魚亭残日録」で開始予定

■ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【背面】

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入れ替わる。

【受先】

受方から指し始める。

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 自玉を取らせる手は反則。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【利き二歩有効】

玉を取ると二歩になる手を王手とみなす。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【点鏡】

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない。

【キルケ】

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う。

- 1) 成駒は生駒になって戻る。
- 2) 戻り位置が埋まっていたり、二歩になったりする場合は戻れない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香(成駒も含む)が5筋で取られ、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。

【アンチキルケ】

駒取りがあったとき取った方の駒が、最も近い将棋での指し始め位置に戻される。

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う。

- 1) 成駒は成ったまま戻る。
- 2) 戻り位置に駒があったり、自玉に王手が掛かったりするため、戻れない場合は戻らない。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 金銀桂香(成駒も含む)が5筋で駒取りを行い、複数の戻り先候補がある場合、戻る位置を選択できる。片方にのみ戻れる場合は強制的にそちらに戻る。

【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)

(補足)

・玉を取るとき敵駒の利きに入るかどうかを問わない場合は、「タイプB」。

・成駒と生駒は別種の駒として区別する。

【詰将棋】

攻方は受方がどのように応じても詰むように攻め、
受方はなるべく詰まないように応じる。

(いわゆる普通の詰将棋)

【協力逃れ】

双方協力して最短で受方玉に王手を掛けられない状態にする。

【駒余り可】

最終手で攻方持駒が余っても良い。

【レトロ -m+n手】

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする。
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数 of 逆算や短い手数の詰手順が成立する場合、それが優先される。

【AntiAndernach】

玉以外の駒は、駒を取らない盤上の移動を行うと、
着手後に相手の駒となる。

(補足)

- ・細則は Andernach と同様で「駒取り」を「駒を取らない盤上の移動」に読み替える。
- 1) 駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合、相手の駒にならない。
 - 2) 相手の駒になるのは成生の選択後。
 - 3) 駒を取らない盤上の移動では、相手陣二段目への桂の不成、一段目への桂香歩の不成が可能(二歩の例外を除く)。

第1番

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						皇	帝		六
						馬	王	帝	七
						飛			八
							金		九

持駒 角歩

第2番

強欲協力詰 5手(2解)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			皇						四
									五
									六
									七
						王	帝		八
皇								王	九

持駒 飛角銀

第3番

背面協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							角		三
									四
									五
									六
									七
						帝			八
		王							九

持駒 歩

第4番

協力詰 4手(受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					王		帝	飛	四
									五
									六
					王	桂	皇		七
								角	八
									九

持駒 なし

b) 58 王 → 33 王

※ 圭 = 成桂

第5番

All-in-Shogi 協力詰 3手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
		飛						一
		銀		と				二
			王					三
								四
								五
			桂					六
								七
								八
								九

持駒 なし

第8番

点鏡協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
							王	二
								三
								四
								五
	王							六
								七
		金						八
								九

持駒 なし

第6番

安南協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
							皇	五
					遊	王		六
								七
								八
							歩	九
							角	

持駒 歩

※利き二歩有効

第9番

Isardam 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
							遊	一
				遊	遊	王	角	二
								三
								四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 なし

- a) キルケ協力詰 7手
- b) アンチキルケ協力詰 7手
- c) 協力詰 7手

第7番

安南協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
王									二
									三
									四
									五
									六
									七
							飛		八
							馬	王	九

持駒 金

第10番

Isardam 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							歩		五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 桂桂香

Fairy of the Forest #67出題

- 2021年05月20日：課題発表：（協力詰）
「自由課題」
- 2021年07月15日：投稿締切
- 2021年07月20日：出題
- 2021年08月15日：解答締切
- 2021年08月20日：結果発表

■ 出題

オリンピックが、何とか始まろうとしています。詰将棋全国大会も、何とかなるのでしょうか。不安を抱えつつも、当事者として動かないことには.....と思っています。

01は前回に引き続き上谷氏の偶数手詰。受先にご注意ください。02は久しぶりの太郎氏。蔵出し作品です。03・04はたくぼん氏から。2局もご投稿いただきました。05は七郎氏の蔵出し作品。受方持駒なしにご注意ください。

多数のご解答をお待ちしています。

（解答先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

■ 67-01 上谷直希

協力詰 4手（受先）

持駒 飛金

■ 67-02 神無太郎

協力詰 9手

持駒 銀

■ 67-03 たくぼん

協力詰 15手

持駒 なし

■ 67-04 たくぼん

協力詰 45手

持駒 なし

■ 67-05 神無七郎
 協力詰 45手
 持駒 なし

										一
										二
					歩	歩	桂	歩		三
						歩	皇			四
						桂	王	香		五
								歩		六
					桂			香		七
										八
								香		九

持駒 桂歩

第 36 回詰将棋全国大会の案内

日時：2021 年 9 月 19 日（日）13 時～17 時
 （12 時受付開始）
 場所：アクロス福岡 7F 大会議室
 福岡市中央区天神 1-1-1
 会費：一般 3000 円、女性・高校生以下 1000 円

当日のプログラム：看寿賞・七條賞・門脇賞の授賞式、握り詰、クイズなどのアトラクション（予定）
 懇親会は実施しない

実行委員会：九州グループ



推理将棋第141回出題(7/15再修正)

担当 Pontamon

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第141回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの? - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2021年8月10日までに TETSU まで

(omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第141回解答」をお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント! 1題でも解けたらぜひご解答ください。

139-3の総評で今回は40手越え出題の予告めいたことを書きましたが、予定変更で総手数35手です。

■本出題

141-1 初級 NAO 作

高飛車くん(その4) 9手

高飛車くんシリーズの第4回は9手に戻ります。

141-2 中級 けいたん 作

成ったのは小駒だけ 10手

3枚以上ある駒種なので大駒や玉ではない。歩は枚数があっても二歩は反則。

141-3 上級 ミニベロ 作

墨守2 16手

前作では動かさせたのはひとつの駒でしたが今回は駒数の制限はありません。

141-1 初級 NAO 作

高飛車くん(その4) 9手

「9手で詰んだんだって」

「ああ、相手が5筋の飛車の手を指してきたので直ぐ5段目への飛車の手で応じてやったぜ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・5筋の飛の手の直後、5段目への飛の手で応じた

141-2 中級 けいたん 作

成ったのは小駒だけ 10手

「10手目の8段目の手で詰みか」

「駒を成ったのは小駒だけだね」

「後手の手によって同種の駒が3枚同じ筋にある局面になったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手目の8段目の手で詰み
- ・駒を成ったのは小駒だけ
- ・後手の手によって同種の駒が3枚同じ筋にある局面になった

141-3 上級 ミニベロ 作

墨守2 16手

「さっきの相手、変な戦法だったな。自陣から一步も出ないんだ」

「前にそんなのあったね。勿論やっつけたんだろ?」

「それが、16手目の端の手で詰まされちゃった。

52・42・32と連続で指されて幻惑されたのかな」

「情けない奴だな。何か悪手でも指したの?」

「玉頭の歩を突いた手が問題だって、解説されちゃった」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・16手目の端の手で詰み
- ・後手の着手はすべて自陣内で、52・42・32の順に着手した
- ・玉頭の歩を突いた

※ 会話文が「連続」、条件が「順」になりましたが、統一すべきでした。作意は「連続」ですが、「非連続」の解答があれば、余詰でしたかありません。一応、検討はしていますが。

(7月15日 ミニベロ)

推理将棋第139回出題解説

担当 Pontamon

第139回の推理将棋出題に対して、19名から解答をいただきました。解答、ありがとうございます。

139-1 初級 ミニベロ 作
桂頭に成る手が2回 9手

「2度までも 桂馬の頭に 駒が成る」
 「何それ？」
 「今9手で詰んだ将棋の話」
 「余裕で勝った感じだけど」
 「6手目の 歩の手が今は 悔やまれる」
 「どうやら負けたみたいだな」
 さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手詰
- ・ 桂頭に成る手が2回あった
- ・ 6手目は歩

 出題のことば (担当 Pontamon)

どちらの駒が何処の桂頭で成るのかを推理しましょう。

作者ヒント

玉頭にも着手します (ミニベロ)

締め切り前ヒント

2回の桂頭の駒成はどちらも先手の角が同じ桂の頭で成る。

 推理将棋139-1 解答

▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲52角、△44歩、▲34角成、△42玉、▲33馬引まで9手

(条件)

- ・ 9手詰
- ・ 桂頭に成る手が2回あった (3手目▲22角成、△33桂に7手目▲34角成)
- ・ 6手目は歩 (6手目△44歩)

詰上り図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	丞		丞	爵		皇	一
	進				王				二
歩	歩	歩	歩	歩		馬	歩	歩	三
					歩	馬			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 桂歩

桂頭での駒成が2回となれば、先手と後手が相手の桂の頭で角成する手がまず思い浮かぶ。参考1図はこの方針で、先手の▲82角成と後手の△88角成で先手と後手が1回ずつ桂頭での角成をする手順になります。▲82角成した馬で桂を取れば、飛車の横利きと43での吊るし桂で後手玉を詰ますことができますが、手数オーバーの11手でした。

参考1図：▲76歩、△34歩、▲55角、△74歩、▲82角成、△64歩、▲92飛、△88角成、▲81馬、△22馬、▲63桂まで11手

参考1図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	馬	爵	丞	王	丞	爵	科	皇	一
飛							進		二
歩	歩		桂	歩	歩		歩	歩	三
		歩	歩			歩			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

角の方向転換のための▲55角の1手が無駄な気がします。▲22角成なら3手目に桂頭の駒成を実現できるので、その取った角を使って2回目の桂頭の角成をする手順がありそうです。

22の馬をよけてから、角打ちからの▲22角成では手数がかかりますが、桂頭の駒成は相手の桂の頭である必要はないので▲33角と打ってから▲88角成の自陣の桂頭で角成することができます。

しかし、▲76歩、△34歩、▲22角成、△52金左、▲33角、△41玉、▲88角成、△32銀、▲33馬上、△14歩、▲32馬寄ならこちらでも11手掛かってしまいます。角を打って、成って、戻ってくると3手掛かってしまいますが、角を打って、桂頭で成るだけなら2手で済みます。

そこで考えた手順が参考2図の手順です。3手目の▲22角成で取った角を12地点へ打ち、後手の桂は33へ跳ねて、▲34角成が2回目の桂頭の駒成にする方針です。先後の桂頭ではなく、ひとつの桂頭で2回の駒成をする構想です。

参考2図の手順で後手玉を詰めたかと思いましたが52地点が空いていました。△52飛などの協力手が間に合えば詰むのですが、この手順では失敗でした。

参考2図：▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲12角、△24歩、▲34角成、△42玉、▲33馬引まで9手

参考2図

後手の持駒：なし

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	▲	桂	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
二		▲				▲				
三	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
四							▲	▲		
五										
六			▲							
七	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
八								▲		
九	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

持駒 桂歩

参考2図を眺めてみると、▲12角の角が34地点へ行けるようにするための後手の協力手△24歩がありました。この△24歩の代わりに後

手は△44歩と突けば、▲34角成ができる角打ち地点として52が見えます。つまり、34角成した馬は52地点へ利いているので、参考2図では間に合わなかった△52飛などの協力手が不要になり、9手で詰めることができるはずで

す。初手から、▲76歩、△34歩、▲22角成で1回目の桂頭での駒成。その21の桂が4手目に△33桂と跳ね、▲52角と打って6手目の歩の手は△44歩の協力手で▲34角成が2回目の桂頭での角成。続いて、8手目の△42玉に▲33馬引で詰みとなりました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

ミニベロさん(作者)「相当古い作品で、当時としては、「肝心の桂馬が移動している」という小ネタでも通用したが、現在では5分持たない。その桂馬が最後消えているのが救い。」

■5分持たないということは無かったと思いません。少なくとも上級の11手よりも持ったと思います。

RINTAROさん「初級にしては骨のある問題でした。33桂に気付くかどうか。」

■級分けの基本が手数なもので....。

のくせにさん「無駄のない駆け引きで好手連発。」

■▲52角に金を逃げずに歩を逃がしたのが敗因。

飯山修さん「最初に誰でもが思いつく成場所で推理したらあっさり。82や88を考えなくてよかった」

■▲76歩、△34歩、▲55角、△74歩、▲82角成、△88角成の後、困って欲しかった。(笑)

NAOさん「馬2枚を縦に並べる詰み形。"6手目歩"が角打場所を限定するだけでなく紛れ筋も解消。」

■歩突きの手なのに6手目で限定された条件として存在していると何かありそうだと疑います。

小山邦明さん「6手目が歩の手」という事でうまく手順前後が避けられていると思いました。」

■2手目と4手目の手順前後（たとえば玉移動と歩突き）の場合はよく「2手目は歩」の条件を見掛けますが今回は6手目。後手の最初の歩の手が6手目だと勘違いすると大変なことになります。

諏訪冬葉さん「最初3手はノータイム。22の馬をどかすのが面倒だったので桂馬に動いてもらいました。」

■どかさずに▲33角から▲88角成してから馬を戻す手順がありそうですが▲33角を王手しないで打つ難題が...

ジェシーさん「駒成が2回とも先手だったら9手で間に合うわけがない、と思い込んでしまっていました。」

■先手と後手で駒成が1回ずつと推理されたか。成る場所の指定がなければ先手の2回駒成は簡単なのですが...

ほっとさん「2回目の桂頭が33とは。」

■△33桂は意外な手でした。

DJカートンさん「桂馬を跳ねて「桂頭」の位置を変えてしまう、というからくりが気づくのが鍵。」

■解説もそのストーリーでした。

けいたんさん「はじめ角を1筋に打つのかと思いました。なかなか味わい深い詰上がり。」

■▲11角や▲13角からの2度目の▲22角成のことでしょか？

べべ&ぺぺさん「12角かと思ったら、52角でした。この桂に狙いを定めると、意外と楽に

解けました。」

■解説の参考2図の手順ですね。

占魚亭さん「6手目は歩」が大ヒントでした。」

■何か怪しい条件なのですが...。大ヒントだったと言っても解図の糸口では無いですね。

原岡望さん「桂を跳ねるのがミソ。これだけは自力。」

■僕の頭で成って貰うという桂の思いがあると△33桂は自力の手ですね

中村丈志さん「2二へ角成2回という先入観の呪縛から、なかなか逃れることができませんでした。」

■他の呪縛は▲88角成して▲33馬上で戻ってくる手順でしょうか。

神在月生さん「角成に追われて桂馬捕獲され」

■桂頭条件2回と最終手で取られる3つのミッションが課せられた桂の大活躍。

はなさかしろうさん「詰み形が良いですね。条件もコンパクトで楽しかったです。」

■角(馬)2枚を横並びや縦並びにする詰み形は綺麗ですね。

緑衾さん「シンプルな条件で限定されている問題でした」

■1条件、2条件の作品は貴重な存在です。

正解：19名

RINTAROさん ミニベロさん のくせにさん
飯山修さん NAOさん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん
ジェシーさん ほっとさん DJカートンさん
けいたんさん べべ&ぺぺさん 占魚亭さん
原岡望さん 中村丈志さん 神在月生さん
はなさかしろうさん テイエムガンバさん 緑衾さん

139-2 中級 緑衾 作

1つの筋に5回

?手

「1つの筋に5回指しただけの相手にそのとなりの筋の玉を詰まされちゃったよ」
 「あはは、どんな将棋だったの？」
 「成駒の手が2回あったよ」
 さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 1つの筋に5回指しただけの対局者がそのとなりの筋の敵玉を詰ませた
- ・ 成駒の手が2回あった

出題のことば (担当 Pontamon)

詰みまでの手数も含めて推理してください。

作者ヒント

飛車が成った (緑衾)

締め切り前ヒント

先手玉は不動。とどめは10手目の9段目への手。

推理将棋 139-2 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲53角成、△47飛成、▲86馬、△48歩、▲68馬、△49歩成 まで10手

詰上り図

後手の持駒：金

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	龍	王	王	龍	科	皇		
二								馬		
三	歩	歩	歩	歩			歩	歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	龍	歩	歩	歩	
八				馬				飛		
九	香	桂	銀	金	玉	入	銀	桂	香	

持駒 歩2

(条件)

- ・ 1つの筋に5回指しただけの対局者がそのとなりの筋の敵玉を詰ませた

(2手目△44歩、4手目△42飛、6手目△47飛成、8手目△48歩、10手目△49歩成)

・ 成駒の手が2回あった (7手目▲86馬、9手目▲68馬)

攻め方は同じ筋の着手だけの5手なので、総手数は9手か10手になります。9手の手順があれば、無駄手を1手加えた10手の手順は全て余詰みになるので、まずは9手から考えてみます。同じ筋の着手だけの条件なので、飛を振った筋の歩を突き進めて最終手はその歩成までの手順が思い浮かびます。飛車振りと歩突きだけで5手必要になるため、成駒の着手条件は玉側になります。成駒着手をするたろには駒成が必要で、その駒成は△77角成。その手が王手にならないように、飛車振るのは6筋。方針が決まったところで手を指してみると、▲68飛、△62玉、▲66歩、△72玉、▲65歩、△34歩、▲64歩、△77角成、▲63歩成 で詰みましたが駒成をするのが精いっぱい、この後、2回も成駒を動かすことはとてもできません。

となると正解手順は10手なのでしょう。9手だと成駒着手2回を攻め方が指すことはできませんでしたが、10手だとはてるま手筋の応用で成駒着手2回を含めて後手が指すことができました。その手順が参考1図の手順ですが、同じ筋5回と成駒着手2回はクリアしていますが、詰めた先手玉は後手が指した3筋の隣の筋ではないので失敗でした。

参考1図

後手の持駒：角銀歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	龍	王	王	龍	科	皇		
二								馬		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩		歩	歩	
八				金	金			飛		
九	香	桂	銀		玉		龍	桂	香	

持駒 歩

参考1図：▲76歩、△32飛、▲33角成、△同飛、▲58金右、△37飛成、▲38銀、△同龍、

▲68 金上、△39 龍 まで 10 手

はてるま手筋は1間龍の形なのでとなりの筋の玉を詰めることは無理でした。となると9手で考えた、飛車振りからの歩突きの手筋でしょうか？9手だと駒成が精いっぱいだったので、10手で1手増えたとしても成駒2回着手は無理な気がしてきます。

とりあえず指してみたのが参考2図です。38の先手玉は△47歩成で詰んでいます、成駒着手は▲33角成した馬を77へ引いて来る1回だけになっています。9手目が▲59馬ならそれでも△47歩成で詰みますが4筋の玉を4筋の手で詰めることになるので条件をクリアできません。やはり心配していた通り、1手増えたので馬の着手は指せても1回だけのようです。

参考2図：▲76歩、△42飛、▲33角成、△44歩、▲48玉、△45歩、▲77馬、△46歩、▲38玉、△47歩成 まで 10 手

参考2図

後手の持駒：歩

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	玉	玉	銀	科	皇		一
					飛		馬		二
歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	三
									四
									五
		歩							六
歩	歩	馬	歩	歩	又	歩	歩	歩	七
						玉	飛		八
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	九

持駒 歩

馬の手をあと1回実現するには、他の着手を削るしかありません。参考2図の先手着手だと玉の手を削るしかありません。例えば、玉の手は▲58玉の1手だけなら、▲33角成、▲77馬、▲68馬を指せます。しかし、このままでは△47歩成の時に▲59玉と逃げることができてしまいます。

△47歩不成から△48歩成なら58の玉を詰めることができそうですが、48地点には右の金銀の他に飛車も利いていますし、43の歩を突き進

めての△48歩成だと12手掛かってしまうので失敗します。

歩を突き進めるのでは間に合わないのであれば、歩を取って打ち、歩成する手筋を使うことになります。△48歩成だと先手駒が利いているので△49歩成を目指すことになり、先手玉は居玉のままになります。この場合、58への玉の逃げ場があるので▲58飛や▲58金右で58地点を先手駒で埋めるか、後手の駒で抑える必要があります。後手の駒で抑えると言っても後手の手は、△52飛、△歩を取る手、△歩を打つ手、△49歩成の4手が必要なので、58地点をカバーする駒は△47飛成した龍になります。

先手に必要な手は、▲76歩、▲角を成る手、▲馬の手、▲馬の手なので、残り1手で▲58飛か▲58金右を指すことは可能ですが、これだと42の飛を△47飛成とすることができません。

△47飛成を指すために邪魔な43の歩を取り除くのはあの手順。もう全体が見えて来たはずで。初手から▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲角成の手、△47飛成、▲馬の手、△48歩、▲馬の手、△49歩成で59の玉を詰めるには、68地点を先手駒で埋める必要があり、必然的に9手目の馬の手は▲68馬になります。未確定なのは、44の歩を取った角が角成する手とその馬が引いて来る手の2手になりますが、▲33角成からの▲77馬だと、33に馬が居ると6手目の△47飛成を指すことができません。したがって5手目の角成は▲53角成で7手目は▲86馬になり、無事に解くことができました。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

緑衾さん(作者)「綺麗な条件の問題になったと思ったら余詰指摘で条件を追加することになりました」

■条件の追加までは行かず「別の筋の玉」を「となりの筋の玉」に調整した感じでした。

RINTAROさん「10手で4筋に狙いを定めたが、簡単ではなかったです。」

■居玉前提で4筋に狙いを定めるとは勘がいい。

「玉が動いた筋の隣を攻める」だと大量の検討が必要。

ミニベロさん「9手詰か10手詰だが、手数を隠す場合、短いほうが正解でない意味がない。この条件では、9手は一秒も考えないから。手順は飛車を世に出す手筋物だが、成駒2回が旨いまとめ。」

■少なくとも数秒は考えて欲しかったです。(笑)

手数を裏読みすると、長い手数の方で余詰にならない短い手数のはずとの思い込みで検討し、肩透かしを喰うというストーリーが担当にありました。

のくせにさん「成駒の手2回でうまく限定されている。」

■「成駒の手2回」を使わない2~3条件で、この47の龍と49のと金で59の玉を詰める手順を限定できるかな？これ以上うまい条件設定は無いかもしれませんね。

飯山修さん「中間ヒントで最初に送った解答の間違いに気づいたが飛車成で詰ます手順が判らない。

直前ヒントでやっと出来ました。ヒントの助けがなければ解けない難問。」

■中間ヒントは「飛車が成った」でしたが、飛成での詰みだと思ひ込み勝ち。ヒントのような、逆に惑わされることになりそうな作者ヒントでした。

NAOさん「成駒2回で馬を誘導するのが面白い手順。

・手数を伏せた出題形式は疑問。手数を伏せず、10手を明示するのがよい。

・また、「1つの筋に5回指しただけの対局者がそのとなりの筋の敵玉を詰ませた」の表現は問題で"1つの筋に5回指し、その後の着手で詰ませた"とも受け取れる。そうすると条件を満たす11手や12手の解答も成立してしまう。語順を直して「玉が詰まされたとき、相手は詰んだ玉の隣の1つの筋に5回指しただけ」と表現すれば誤解はないが、ちょっと紛らわしい。なので、普通に、以下の条件付けがよいと思う。

・10手で詰み

・後手は一つの筋だけに5回指し、その隣の筋の先手玉を詰ました

・成駒の手が2回あった」

■「1つの筋に5回指した対局者がそのとなりの筋の敵玉を詰ませた」なら11手以上の詰み手順も該当してきますね。投稿時のコメントが「手数表記がないことが気に入ってます」とのことでしたので作者の意向を尊重しました。

小山邦明さん「成駒の手が2回という条件」が後手番でないと難しい事が検討しているうちにわかってきました。」

■後手番が詰めて勝つ10手ということですね。

諏訪冬葉さん「飛車先の歩を突くのは成駒の手が足りない。はてるま手筋と両王手の筋は玉が隣にいない。となると44角パックマンが有力。攻め駒不足かと思ったが歩で何とかなった。」

■解説と同じ推理過程でしたね。

ジェシーさん「歩を突いていく手順はどの筋もだめ。まさかこれではないだろうな、と思った方向が正解でした。」

■歩を取って、打って、成るの3手を掛けるのは遅くになりそうだし、よく出てくる「歩の遅早」が頭にあると歩を突いていく手筋に妥当に見えます。

ほっとさん「10手だろうと予想はつくが、うまく限定されている。」

■成駒の手が2回という条件が旨い。

DJカートンさん「はてるま手筋(…でしたっけ?)も考えたが、それだと「隣の筋の敵玉」を詰ませられない。」

■ひとつの筋だけの着手という条件だと、はてるま手筋と歩を突き進める手順が浮かびます。

ベベ&ペペさん「馬の動きがなかなか見えなかった。飛車を世に出す近道でした。」

■44の角はよける必要がありますが、馬に成らないといけない。▲68銀の1手で済む玉の退路

埋めを馬の着手2回で実現するのが見え難いですね。

占魚亭さん「成駒の手2回を駒成り2回と記憶して解図していました……(汗)。」

■初級の条件と混ざってしまったようです。

原岡望さん「馬は自陣に引け、に気を取られた。」

■33から77への自陣へ引く手が思い浮かび易い。86からの68は意外な道。

神在月生さん「金入手 手数超過で 四八歩」

■△47歩成の時に金を取って、△46と、△47と、最終手△48金の構想ですね。

はなさかしろうさん「綺麗な問題なのですが、手数に目が行ってしまいますね。一方5手の条件で9手の問題が作れたら凄いいけど…などと。」

■9手の順が存在していると余詰になるのでしっかり検討しました。9手詰で出てくる成駒の手は3種。回数の最多は3回でした。

正解：17名

RINTAROさん ミニベロさん のくせにさん
飯山修さん NAOさん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん
ジェシーさん ほっとさん DJカートンさん
ベベ&ペペさん 占魚亭さん 原岡望さん
神在月生さん はなさかしろうさん テイエムガンバさん
緑衾さん

139-3 上級 Pontamon 作
金不成は無い 11手

「棋譜で駒種の後ろに付く「不成」とかは補助記号って言うのかな」

「何て言うのかな、で、どうしたの？」

「11手で詰んだこの棋譜だけど、補助記号が付いた金の手があるんだ」 ※

「金不成は有り得ないけど確かに文字が付いてるね。あと1段目への成桂着手もあるね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手で詰み

- ・補助記号が付いた金の手があった ※
- ・1段目への成桂着手があった

※補助記号は、棋譜で駒種の後ろに付く文字のこととします。

出題のことば (担当 Pontamon)

タイトルにもなっている補助記号付きの金の手が解図の糸口？

作者ヒント

補助記号なしの金着手なし (Pontamon)

締め切り前ヒント

2枚の金で「金左」と「金寄」。2段目の成桂が1段目へ動いて詰み。

推理将棋 139-3 解答 担当 Pontamon

▲76歩、△34歩、▲22角成、△42飛、▲21馬、△52金左、▲14桂、△41玉、▲22桂成、△51金寄、▲31成桂 まで11手

(条件)

- ・11手で詰み
- ・補助記号が付いた金の手があった (6手目△52金左、10手目△51金寄)
- ・1段目への成桂着手があった (11手目▲31成桂)

詰上り図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵		王	王	主	馬	皇	一
				王	飛				二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角銀

タイトルや会話からは補助記号付きの金の手が解図の糸口に見えるかもしれませんが、金成や金不成の手はありませんが、金の着手で補助記号が付く手は多く、左、右、上、引、直、寄、打、左上、右上などがあるので絞り込むのは難しそ

うです。実は1段目への成桂の着手が解図の糸口なのです。自陣の桂が跳ねて行って桂成するには手数が必要なので、詰み上がりをかなり絞り込めそうです。

後手は補助記号付きの金の手が必要なので後手の金は1手回り道をして、その間に先手の桂が跳ねて行って成る手順を指してみたのが参考1図の手順です。

61に成桂が居て持ち駒に金があるので11手目に▲51金なら詰みですが、成桂が1段目にあるものの成桂の着手はしていません。参考2図のように成桂着手の支えとして先に▲62金を打ってからの▲51成桂だと手数オーバーの13手になってしまい、失敗です。

参考1図：▲76歩、△52金左、▲77桂、△42金、▲65桂、△32銀、▲53桂不成、△31角、▲61桂成、△41玉、▲62金、△14歩、▲51成桂 まで13手

参考1図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵		圭	王	皇	科	皇	一
			金		圭	爵			二
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩		三
								歩	四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	角						飛		八
香		銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

自陣の桂が跳ねて行くのでは手数が足りなかったため、次は相手の桂を取ってから打つ手順を考えてみます。参考2図の手順では、後手の協力手の△33桂を▲同馬で取って、玉の脇腹の41地点への成桂で後手玉を詰めるため、▲23馬と寄る手で41地点を睨みます。後手は自ら玉の退路を塞ぐ協力手の△52金左や△62飛を指します。先手は取った桂を▲33桂と打ってから▲41桂成とすれば11手で詰みですが、参考1図の手順と同様に1段目に成桂はあっても1段目への成桂の手を指していないため失敗でした。

参考2図：▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲同馬、△42銀、▲23馬、△52金左、▲24桂、△62飛、▲32桂成、△14歩、▲41成桂 まで13手

参考2図

後手の持駒：なし

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	爵	圭	王	圭			皇	一
			圭	圭	爵				二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		馬		三
							歩	歩	四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角歩

じっくり先手の着手を考えてみると、後手の桂を取れるのは5手目、7手目に桂を打って、9手目に桂を成って、11手目はその成桂を1段目へ移動させるという手順になり、この手順に沿わない手を指す暇はありません。改めて参考2図の手順を見てみると、7手目の▲23馬が指すことができない手でした。7手目は桂を打つ手でなければいけません。先手の馬が33に居るのでこの馬を支えにして成桂を1段目へ移動する手で詰める必要があります。つまり成桂の着手は51地点です。5手目の▲33馬は王手の応手ですが、△62玉だと次の▲54桂（▲42桂成から▲51成桂を指すため）が王手になるので△52玉とします。▲51成桂までの11手は、▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲同馬、△52玉、▲54桂、△72金、▲42桂成、△61玉、▲51成桂 になります。62へ玉が逃げることもできるし、41に金が居るので△同金で詰みません。しかも補助記号が付いた金の手がありませんでした。

5手目の桂を取らなければ7手目に桂を打てないので、万事休すかと思いきや、後手の協力手の△33桂で馬を高い位置へ持っていかず、先手が自ら▲21馬で桂を入手する手が残っていました。

5手目に▲21馬で桂を取る場合、21に残って

いる馬を支えにして1段目の成桂着手となると▲31成桂を指すことを目指すことになります。桂成の地点は31へ動ける地点で桂成をしなければいけません。▲31成桂で後手玉が詰むなら玉の最終位置は41なので、桂成を41、42、32、31ですることはできません。とになると、残っている地点は22だけなので、22へ桂を跳ねることができる地点へ7手目に桂を打つことになります。34地点には歩が居るので7手目の桂を打つ地点は14に確定し、9手目▲22桂成、11手▲31成桂です。

41の玉の逃げ場になりそうな地点には駒を配置しておく必要があります。▲31成桂の王手なので、41の玉は42へ上がることができるので42地点を後手の駒で埋めておく必要があります。同様に51地点と52地点にも後手の駒を配置する必要があります。玉が41へ行くには41に居た金が動く必要があります。△42金と△52飛と△51金で3地点を埋めることができますが、金の着手のどちらも補助記号が付く手にはなりません。とになると、42地点は△42飛で残りの51と52の地点を金で埋めます。玉が移動する先に居た金を△52金左とすれば、61の金が51へ移動する手は△51金寄になり、金の着手2回とも補助記号が付く手になりました。

41の金が動かないと△41玉ができない。△52金左を指してしまうと△42飛を指せない。等々の手順を考えると、後手の着手順は△34歩、△42飛、△52金左、△41玉、△51金寄で確定されます。

それではみなさんの短評をどうぞ。

(短評)

Pontamon (作者)「情報が多い着手を使えば条件数を少なくできるはずという作図シリーズです。手数のかかる端の方の手だったり、別の駒が動かないと指せない手だとか切り口はいろいろあるのですが、今回は成桂着手が条件でした。」

RINTAROさん「論理的に先手の指し手は限られているので考えやすかったです。3問中、最速で解けました。」

■取って、打って、成って、動くの4つの手を含む成桂着手の条件でした。

ミニベロさん「ゆるい条件だから簡単だと思ったけど、これしかないんだ！」

金の補助記号2回とは言わないところがニクイ。」

■条件をクリアしてしまうと2回目があることを見逃しがち。そこを狙い。

のくせにさん「11手で1段目へ成桂着手しようとする先手の手がほぼ限定されるので、上級感はなかったです。」

■手数で級分けしている弊害ですね。

飯山修さん「1段目成桂の手が成立する一番安易な方法が14桂限定で成立するので他の手段を考えずに解に到達」

■33以外の3段目へ打つには後手の協力が必要なので4段目への桂打ちは自力で行けますね。

NAOさん「桂打～成が限定されて巧い。補助記号が付いた金の手が2回入った。補助記号1回を探したが見つからず。」

■補助記号付きの金着手1回だけや補助記号付きと無しの金着手もなく、補助記号付き2回だけでした。

小山邦明さん「「1段目への成桂着手」の条件一つで、「桂を取って」「桂を打って」「桂を成って」「その成桂を動かす」という4つの手の意味が含まれるので、かなり着手が制限できますね。桂の打ち場所が34に歩がある事で自然に14に限定されるのが良いと思いました。」

■手数で上級にしましたが、論理で解けるので難しめ初級という感じでしょうか。

諏訪冬葉さん「補助記号より「1段目の成桂」の方が手掛かりになりました。」

■情報が多いのは成桂の着手ですね。

ジェシーさん「4二金とつい指してしまっただめなのがミソなのでね。」

■△42金を指してしまうと金の着手に補助記

号が付かなくなります。

ほっとさん「これで限定できているとすれば不思議。」

■ 1 段目への成桂着手はこの形だけのようです。

D J カートンさん「逆算すると「5 手目で取って7 手目で打って9 手目で成って1 1 手目で1 段目に移動」しかないのでは非常に限られている。そのため今回の問題の中で一番簡単だった。」

■ 3 問中で一番簡単だったとの短評が多かったです。

ベベ&ペペさん「ヒントがなければ、解けませんでした。4 2 飛が趣の深い手です。」

■ 先を見越さないと指せない△42 飛。

占魚亭さん「不動で詰ますことに拘泥して、玉を寄る手に気付くまで時間がかかりました。」

■ 玉腹への成桂着手は手数が足りませんでした。

原岡望さん「桂馬の遅早。」

■ 4 段跳ねで成るよりは取って打って成る。

神在月生さん「三三の 打ちは採らずに 玉を待つ」

■ 桂は端へ打って2 筋で成り、玉の接近を待ちます。

はなさかしろうさん「4 手目以降の後手の手順は別件で考えていたところだったのですんなり解けたのですが、同時期に同じ手順を考えているということは、その元になった共通のなにかがあったんじゃないかな、と思ったり。」

■ 恐らく偶然でしょうね。ファイルのプロパティと Twitter を振り返ってみると、本作は4 月25 日に出来上がった2 作のうちの一つです。もう一作の方の余詰が取れなくて、その3 日前には「禁断の究極条件：手順前後や非限定の手が無い手順だった」などと呟いてました。(笑) 詰パラ用に作り始めた2 作ですが、結局、両作

ともここでの公開になりそうです。

担当の場合、投稿作の余詰チェックや解説の失敗手順を考えている際に作図の切っ掛けを得ることが結構あります。余詰が中々取れなかった方は139-2 を出題したのが切っ掛けでした。(発想が飛んで行っただけの作図なので出題しても139-2 が切っ掛けだとは分からないと思います)

緑衾さん「補助記号の問題というより一段目成桂の問題だと思います。」

■ 11 手だと成桂の手がいろいろあるので1 段目指定が必要でした。補助記号で目を逸らすことは出来なかったようです。

正解：1 7 名

RINTARO さん ミニベロさん のくせにさん 飯山修さん NAO さん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん ジェシーさん ほっとさん D J カートンさん ベベ&ペペさん 占魚亭さん 原岡望さん 神在月生さん はなさかしろうさん テイエムガンバさん 緑衾さん

総評

RINTARO さん「中級3 問といった趣。良問で楽しめました。」

■ 初級、中級、上級の総手数は30 手前後で出題していますが、第141 回は40 手越え?!

ミニベロさん「全体的に軽めのシンプル作品でした。

今後私の「重い」作品が出題されたらゴメン。」

■ 139 回と140 回の2 ヶ月を軽めにしたので、141 回での出題かな?

飯山修さん「139-2 最初の解答送付で勘違いして誤答を送り直前ヒントでやっと解けましたが、勘違いがなければずっと苦しんでいたかもしれないのでこのほうがかえって良かったのかも」

■ 解けた後でも中間ヒントや締め切り直前ヒントをチェックされている効果ですね。担当が解答者だった頃は、この問題でどんなヒントを出すのかを予想してヒントを待っていました。

諏訪冬葉さん「久しぶりのヒント前全回答です。」

■今年から中間ヒントを出しているので、ヒント前解答のハードルが上がって2週間が目標。

ほっとさん「今回もかなり早目に解けていたのに解答送付が遅れてしまった。」

■解答を担当へも直送されている方以外の皆さんの解答が担当へ届くのは締め切り後なので、早い遅いは大丈夫です。投稿・解答履歴で公表されている回答日の5月23日では中間ヒント前に解けているのが分かります。

D Jカートンさん「3問合わせて所要時間20分くらい。…やはりこのくらいが気力の限界らしい(笑)。」

■別の日に続きを考えるとという選択は？他にも解図するものがたくさんあるので推理将棋には時間を掛けれないのかな。

べべ&ぺぺさん「今月も頑張りました。楽しませて頂き、ありがとうございました。」

■今後も解答をよろしくお願いします。

占魚亭さん「全作解けましたが、復調とは言い難い状態です。」

■思いの外、時間が掛かったのかな。

原岡望さん「今月もヒントのお世話になりました。解けて一安心」

■ヒントのお世話になったのは初級と中級？

神在月生さん「久方に 吾にも解けし 難易度か」

■もう少し手応えがあったほうが解図感を味わえますね。

推理将棋第139回出題全解答者： 19名
RINTARO さん ミニベロさん のくせにさん
飯山修さん NAOさん 小山邦明さん 諏訪冬葉さん
ジェシーさん ほっとさん DJカートンさん
けいたんさん べべ&ぺぺさん 占魚亭さん
原岡望さん 中村丈志さん 神在月生さん
はなさかしろうさん テイエムガンバさん 緑衾さん

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【点鏡】

55 に関して点対称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

[補足]

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を 1 つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

※各題 G の総駒数は 4 の設定です。

<問題>

【12-1】

点鏡協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
								王		二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 歩G

23 歩 87 桂 82G 23 玉 22 王 88 桂生
 まで 6手

占魚亭

2 手目桂受けがポイント。

【12-2】

点鏡協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									王	一
										二
										三
王										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 金G

83 金 27G 33G 77 飛 23 金 22 飛成
 まで 6手

占魚亭

ダイナミックな 5・6 手目がいいですね。

【12-3】

点鏡協力自玉詰 6手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
								王		八
									王	九

持駒 角G

92 角 18G 38G 63G 47 王 38 玉 まで 6手

占魚亭

4 手目 63G が上手い一手。

今回は 2 がベストですね。

※いつもご解答・ご感想ありがとうございます。
 もうしばらく続けられると思いますので、引き続きよろしくお願ひします。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2020年8月10日(火)

推理将棋第 141 回出題

推理将棋 3 題

2021年8月15日(日)

第 132 回 WFP 作品展

フェアリー作品 11 題

Fairy of the Forest #67

協力詰 5 題

2021年8月20日(金)

(ライトな) フェアリー短編コンクール

フェアリー作品 16 題

作品募集一覧

復活！おぼかな作品展

WFP53号で出題(54号で解答発表)されたWFP史上最も異質な作品展であった「おぼかな作品展」を復活させます。WFP160号(10月号)にて開催します。というわけで大々的に作品募集します。前回から約9年の歳月が流れておりますのでどのようなものか分からない人が居るかもしれませんので前回作品展の中から1作を紹介します。

神無太郎作

安南詰 1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				▽					一
				馬					二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 △

※普通の安南詰です。

△の駒は何なのでしょう？当時の正解者は0でした。正解は53金まで1手詰。何ということはない、この図は将棋盤を裏から見ている(見えるかどうかは別ですが：笑)図で51の駒は玉、52の駒は角、持駒は金・・・という訳でした。本作品展は、どんな答えであっても怒らないという暗黙のルールがあります。百鬼夜行、こじつけ、とんち、予想をはるかに超える答えなんでもありです。正誤判定は、以下の通り

×：論理が破綻している or 理解不能

△：合理性は認められるが、作意と比較すると明快性に劣る

○：作意 or 作意と同等の明快性あり

◎：作意以上の明快性あり(今回はなし)

解答の正誤判定の最終判定は作者にお願いします。(この辺りはWFP54号解答発表をご覧ください)

投稿締切：2021年10月17日(日)

投稿先：WFP編集部(たくぼん)メールにて

条件：図面につきましては作者にて作成下さい

※一人何作でも可。フェアリーに拘らなくて可。

推理将棋可。他なんでもありです。

人智を超える発想で笑える作品をよろしく願います。

【あとがき】

占魚亭さんのブログで開催されている(ライトな)フェアリー短編コンクールはいろいろなルールの作品が集まりましたね。中には難しいのがありますが楽しめること間違いなし。是非解答をお送り下さい。個人的には作者当ても注目しています。

たくぼん

2021年 第157号

Web Fairy Paradise

非売品

令和三年七月号

令和三年七月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp